

笠間地区社協だより

ふくし笠間

第56号



カトレア



SAKAE
WARD

令和5年12月31日発行（第56号）

発行元：笠間地区社会福祉協議会

発行責任者：田中正

編集委員：田中貞代・増田眞理・大沼妙子
久保田 明子

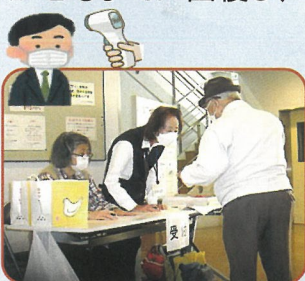
編集協力：横浜市笠間地域ケアプラザ

令和5年度 笠間地区「敬老の集い」を 開催しました



笠間地区では今年度も「敬老の集い」を10月29日(日)ガーデンアソシエクラブアリーナで行いました。開催に当たりまして、新型コロナウイルス感染症は、9月より第5類に移行されましたが、スタッフ一同感染対策を徹底して対応致しました。

当日は、朝方小雨がばらつき参加者の出足が心配されましたが、関係者が会場設営・受付準備を開始した8時30分頃には雨も上がり、太陽が顔をのぞかせるまでに回復し、準備作業も順調に終了、参加者をお待ちしました。



9時30分受付開始と同時に参加者が来場されはじめ、検温・アルコール消毒をしていただき、受付後、お土産をお渡しすると共に席までご案内しました。特に混乱する事も無く、**開始予定の10時**までには来賓の方々を含め全員席についていただく事が出来ました。



第一部の式典は福岡 雅和 地区民児協会長の「開会のことば」に続き、田中正 地区社協会長による「主催者挨拶」の後、来賓の堀口 和美 区長、井上 聖貴 区社協事務局次長、金枝 洋平 笠間地域ケアプラザ所長より「祝辞」を頂き、最後に指田、福岡両会長よりそれぞれ、開催に当たりご支援頂いた、町内会長・自治会長、民児協の方々をご紹介して頂きました。



休憩をはさみ第二部のアトラクションに移り、「湊谷 小鉄」さんによる落語「長短」が披露され、参加者から思わず笑いがもれていました。続いて、

西本郷小学校PTAのコーラスグループ「ハッピーコーラス」の歌と共に趣向をこらしたパフォーマンス、及び参加者も一緒に唄う場面も有り、会場は楽しい雰囲気になりました。

最後のグループ「EL CieLo」(中南米の音楽)の軽快な演奏と歌声に参加者から手拍子が入り、演奏終了時にはアンコールがかかるほど会場が盛り上がるなか福岡会長の「閉会のことば」をもってお開きとなりました。本年も無事終了出来、関係者一同安堵しております。



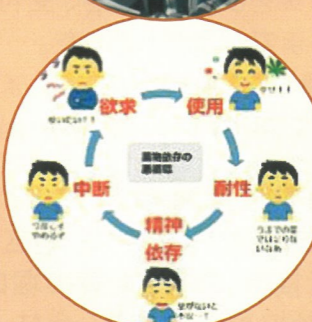
令和5年度 笠間地区福祉保健計画 「つなプラ」第1回研修会開催 ～薬物依存症の背景と地域で出来る事～

11月12日(日)笠間ケアプラザをメイン会場に田立・通り町両会館をリモートで結び、令和5年度第1回つなプラ研修会を開催致しました。

笠間地区では、「青少年の健全な育成」を目指しておりますが、その取り組みの一つとして、今回講師にダルク・ケア・センターの山田 貴志施設長と生田 悠気氏をお迎えして「薬物依存症」についてのお話を伺いました。その中で「薬物依存症は病気です」、正しい治療方法は、「同じ苦しみを持った人達と一緒にあって共有し、共感しながら、つながりをもってお互いに助け合える仲間がいるというメッセージを伝え、薬物依存症からの回復のお手伝いをしましょう」という事でした。

ただ、テーマの中の「地域で出来ること」の部分は地域としては難しい課題です。「出来る事は研修会や勉強会等で各自が薬物依存症に対する意識をもつこと事が大事」というお話しでした。

今回講師をして頂きました山田施設長、生田氏は自身薬物依存症の経験者であり自らの体験をもとにされた講義内容は説得力が有り、短時間の中で薬物依存に対する怖さを再認識出来、有意義な研修となりました。



なぜ薬物乱用はいけないのか !!



脳をおかされて心も身体もボロボロになる。

薬物の乱用により幻覚や妄想が現れ殺人などの重大犯罪を引き起こす。



一度手を出したら
なかなかやめられない



はじめ や
正しい選択 = 一に止める



暴力団などの薬物密売組織に資金を提供する事に繋がる

活動訪問記

放課後等デイサービス クリームソーダを訪問しました



放課後等デイサービスとは、障がいのある小中高生を放課後や学校の休日にお預かりし、療育活動を通じて日常生活能力を高めていくための支援をする施設です。

栄区笠間にある「放課後等デイサービスクリームソーダ」さんは2014年11月に立ち上げられ最初は小学生の部、2015年11月に中学生・高校生の部が出来ました。

小学部(小1～6年)は室内外での遊びや、レクの活動を通じて豊かな感性やコミュニケーション能力を育てています。中高部(中1～高3)は室内では、近隣施設等から材料をいただいて、グッズを作っています。また近隣施設等へ行き材料をいただく活動を通して人とのやり取りを覚えたり、近隣の職場へ直接伺い、職員さんと一緒にお仕事体験をしたりしています。

このように小学部ではみんなと一緒に活動する事からの学びを、中高部では学校を卒業し社会へ出てからの将来への準備のための活動を行っているそうです。



手作りグッズ
キャンドル、菜、消臭剤



グッズ作りの様子



クリームソーダの職員の方々は、ここが「自信を持って明るく元気に社会生活を送る人」になるための支援を行い、そして「子どもたちと地域社会との架け橋になりたい」とおっしゃっていました。



クリームソーダ送迎車



新聞折込作業の様子



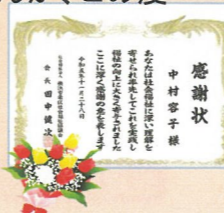
久保田・増田

表彰されました

おめでとう
ございます



令和5年11月28日笠間ケアプラザ デイサービスボランティアの中村 容子さんが、この度栄区社会福祉協議会より福祉功労顕彰者として表彰されました。



あなたのやさしさを地域福祉に生かしましょう !!

～令和5年度 賛助会員加入のお願い～

『誰でも安心して暮らせるまち』『顔の見えるまち』を目指して地域福祉活動をさらに充実させる為に皆様の賛助会員への加入をお願いします。

☆会費につきましては大切に使用させていただきます☆

【賛助会費】 法人会費 一口 5,000円 個人会費 一口 1,000円
※何口でもご加入いただけます。

【申し込み先】 笠間地区社会福祉協議会 田中正 ☎045-894-3357
大沼 妙子 ☎045-893-9000



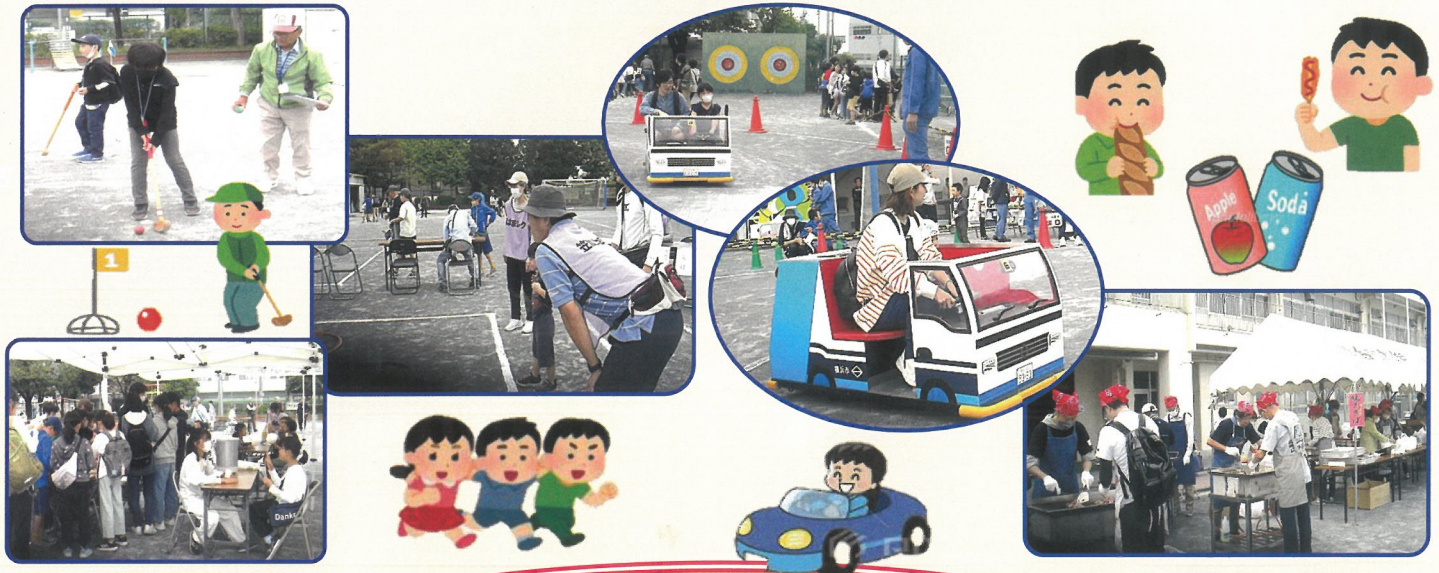
♥あなたのご支援をおまちしております♥



皆様ご存知の様にコロナウイルス感染拡大防止、悪天候(台風通過)により開催出来ずにいました「かさま・ふるさと秋まつり」を本年度(2023年)開催致しました。

5年ぶりの開催となりますので、運営メンバーを中心に検討を進め、会場レイアウト、スケジュール、必要人員、運営要領など決定しました。

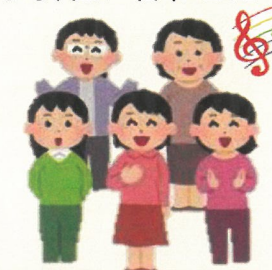
当日は曇り空でしたが、久々の開催とあって開始前から家族連れや友だち同士など、大勢の方が会場の笠間小学校に集まり始め、10時の指田大会会長による開会宣言と同時に、校庭に配置された6種類のゲーム(各ゲームの合計点により賞品が出る)に挑戦する人、電動ミニカートを楽しむ親子連れ、ずらりと並んだ模擬店で綿菓子、焼きそばや飲み物を買って求め、休憩所は歓談するグループなどで埋めつくされ、久しぶりに開催された「秋祭り」を思い思いに満喫している様子でした。



KASAMA ♥かさま・ふるさと秋まつり♥を 開催しました

また、体育館内は笠間小学校PTAコーラスグループの歌、同小PTAバンド、西本郷中学校吹奏楽部による演奏が披露され、こちら、曲に合わせた

子どもたちの手拍子や、先生方が飛び入りで参加され、コーラスグループと一緒に唄われる場面もあり会場は大いに盛り上がりました。



最後に恒例の抽選会に移り、飛び賞、5等、4等、3等、2等、1等、特等の順に抽選が行われ、当選番号が読み上げられる度に歓声が上がリ、当選者は大喜びで賞品を受け取っていました。



最後に指田大会会長による特等賞の抽選が行われ、当選番号が発表されると、会場はひと際大きい歓声に包まれ、大盛況のうちに終了しました。

5年ぶりの開催であり色々不安な点もありましたが、各町内会自治会、及び各種団体の皆様のご協力により無事開催でき、スタッフ一同感謝しております。

